

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年（普通科、園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	新編 論理国語			出版社名	大修館書店	
	副教材	常用漢字クリア（尚文出版）					

学習の目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを深めます。 3 言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部：論理を活用する 1 自己を見つめて探求する力	○ 読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深めます。	中間 考査  期 末 考 査
	5月	2 思考を深める 和の思想、間の文化 ミロのヴィーナス	○ 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味します。	
	6月	3 社会に向かって 志望先への提出書類 志望理由書を書こう	○ 必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書を書きます。	
	7月	自己推薦書を書こう	○ 自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書きます。	
2 学期	8月	4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか	○ 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めます。	中間 考査  期 末 考 査
	9月	クオリアと心	○ 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもち、独特の概念や筆者の主張を的確にとらえます。	
	10月	6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと	○ 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深めます。 ○ 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかみます。	
	11月	7 未来に目を向けて 人口減少社会の到来 未来の地図帳 エネルギー耕作型文明への転換	○ 日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりします。 ○ 対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	
3 学期	1月	豊かさにつながり	○ 論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	学 年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いている。
評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考査前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。		

教科	国語	科目	文学国語	学年	3年(普通科 探究類型 文系、教養類型、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 標準文学国語			出版社名	第一学習社	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
	2	深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりの中で自分の考えを広げます。
	3	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむことで自己を向上させます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部 現代の小説(三)	○ 物語の展開や表現の特色を的確に捉え、読解力を養います。	中間 考査  期 末 考査
	5月	近代の小説(二)	○ 作品に表れているものの見方を読み取り、自分のものの見方を深めます。	
	6月		○ 物語の内容や描写を踏まえ、解釈の多様性について考察します。	
	7月	テーマを決めて短歌・俳句を作る	○ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学びます。	
2 学期	8月	近代の詩	○ 表現上の特徴に着目して文語詩や口語詩を読み味わいます。	中間 考査  期 末 考査
	9月		○ 詩に描かれている心情や考え方を読み取り、豊かな感性を養います。	
	10月	現代の小説(四)	○ 登場人物の行動や情景描写の仕方に着目し、登場人物の心情の変化を読み取ります。	
	11月	物語を創造する (物語を発言する力)	○ 読書の意義と効用について理解し、進んで読書をする態度を養います。	
	12月	戦争と文学(二)	○ 文体の表現や技法に注意して、人物の心情や情景を描写します。	
3 学期	1月		○ 読み手の関心が得られるよう、構成や展開を工夫して文章を書きます。	学 年 末 考 査
	2月		○ 出来事の経緯や人物の発言をもとに登場人物の心情を読み取ります。	
	3月		○ 文学作品の主題を的確に読み取り、戦争や平和について自分の考えを深めます。	

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考査前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	古典探究	学年	3年(普通科 探究類型 文系、教養類型)	単位数	3
教材	教科書	新編古典探究			出版社名	東京書籍	
	副教材	ダブルマスター古典文法+漢文句形					

学習の目標	1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、伝統的な言語文化に対する理解を深めます。
	2	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばします。
	3	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	古文編 II部 1 随筆を味わう	○ 作者のものの見方、感じ方、考え方を自分と関係づけながら読み取ります。	中間 考查
	5月	漢文編 II部 1 小話を読む	○ 平易な文章の内容を漢文特有の語や句法に注意して、的確に読み取ります。	
	6月	古文編 II部 2 歌物語を楽しむ	○ 歌物語の特色に注意して、作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ります。	期末 考查
	7月	漢文編 II部 2 古詩を味わう	○ 内容や表現の豊かさを理解し、詩に詠まれた情景や心情を読み味わいます。	
2 学期	8月	古文編 II部 3 大鏡	○ 作品の特色に注意して、歴史物語を的確に読み取ります。	中間 考查
	9月	漢文編 II部 3 史記を味わう	○ 漢文特有の語や句法に注意して、登場人物の言動や人物像を的確に読み取ります。	
	10月	古文編 II部 5 作り物語を味わう	○ 他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取ります。	期末 考查
	12月	漢文編 II部 4 儒家と道家	○ 古代中国の様々な思想を比較し、人間の在り方について考えを深めます。	
3 学期	1月	古文編 II部 4 歌話・歌論を読む	○ 構成を考えながら歌論を読み、内容の解釈を深めます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。		



教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	2
教材	教科書	政治・経済			出版社名	東京書籍	
	副教材	2024政治・経済ワークブック(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて必要な概念や理論を理解します。
	2	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付けます。
	3	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	○ 政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解します。	中間 考査  期 末 考 査
	5月	2節 日本国憲法の基本原則	○ 大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。	
	6月	3節 日本の政治機構	○ 国会、内閣、裁判所の権限や組織のしくみについて理解します。	
	7月	4節 現代政治の特質と課題	○ 議会制民主主義において政党が必要な理由や、日本の選挙制度の特徴について理解します。	
2 学期	8月	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済	○ 経済体制にはどのようなものがあるか考察します。	中間 考査  期 末 考 査
	9月	2節 現代経済のしくみ	○ 家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解します。	
	10月	3節 日本経済の発展と現状	○ 日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。	
	11月	4節 福祉社会と日本経済の課題	○ 労働問題が発生する理由や、社会保障制度の発展と変化について理解します。	
	12月	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	○ 日本の子育て支援の現状や、地域社会の現状について理解します。	
3 学期	1月	2節 複雑化する国際政治と日本 第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題	○ 国際社会の秩序維持の要因や国際法の特徴について理解します。	学 年 末 考 査
	2月	第3章 国際社会の諸課題	○ 貿易の意義や現代の国際通貨体制の変遷、経済のグローバル化の進展や近年の国際金融の変化について理解します。	
	3月		○ 多文化共生をめぐる現状や貧困と開発援助の現状について理解します。	

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。		

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	3
教材	教科書	新編 数学Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	基本と演習テーマ 数学Ⅱ+B (数研出版)					

学習の目標	1 三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 角の拡張 2. 三角関数	○一般角に拡張された三角関数の値を求めら	中間 考 査
	5月	3. 三角関数のグラフ 4. 三角関数の性質	○三角関数の特徴を理解し、三角関数のグ	
	6月	5. 三角関数を含む方程式、不等式 第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用	○加法定理を理解し、種々の三角関数の値が	
	7月	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	○指数関数の特徴を理解し、グラフをかける	
2 学期	8月	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	○対数関数の特徴を理解し、グラフをかける	中間 考 査
	9月		○常用対数の意味について理解し、その応用ができるようにします。	
	10月	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数とその計算	○微分の考え方を理解し、導関数の計算ができるようにします。 ○導関数を応用し、接線の方程式が求められるようにします。	
	11月	3. 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4. 関数の増減と極大・極小	○3次関数のグラフを利用し、極値や最大値・最小値、3次方程式や3次不等式の解	
	12月	5. 関数の増減・グラフの応用 第3節 積分法 6. 不定積分	○積分の考え方を理解し、不定積分や定積分の計算ができるようにします。	
	1月	7. 定積分 8. 定積分と面積	○定積分の考え方を応用し、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	
3 学期	2月			学年末 考 査
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。

評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。
-------	---

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えてみましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	---





令和6年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂 生物基礎			出版社名	第一学習社	
	副教材	クリア生物基礎 (第一学習社)、生物基礎実験ノート・問題集 (高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1章 生物の特徴	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習を行います。	中間 期末 考查
	5月	2章 遺伝子とその働き		
	6月	3章 生物の体内環境		
	7月			
2 学期	8月	4章 バイオームの多様性と分布	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習を行います。	中間 期末 考查
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学期	1月	5章 生態系とその保全	○総合問題演習を通して2年次の学習内容の復習を行います。	学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法			
学習へのアドバイス	1 2 3		

教科	理科	科目	地学基礎	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	2
教材	教科書	地学基礎			出版社名	実教出版	
	副教材	地学基礎エブリィノート(実教出版)、ビジュアルプラス地学基礎ノート(実教出版)					

学習の目標	1	日常生活や社会との関連を図りながら、地学の基本的な概念や原理・法則を学びます。
	2	現代社会に見られる環境問題に対して、地学的に探究する態度と能力を身に付けます。
	3	対話的な活動を通して、主体的に課題に取り組み、他者の意見を尊重する態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1章 地球の構造と運動 1節 地球の構造	○ 問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。	中間 考查
	5月	2節 プレートの運動 火成岩・堆積岩・変成岩		
		3節 地震と火山		
	6月	4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のつき方		
7月	2節 化石と地質時代の区分			
	3節 古生物の変遷と地球環境			
2 学期	8月	2章 大気と海洋 1節 大気の構造と運動	○ 問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。	中間 考查
	9月	2節 大気の大循環		
		3節 海洋の構造と海水の運動		
	10月	4節 日本の四季の気象と気候		
		3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 2節 太陽の誕生		
	11月	1節 宇宙の誕生		
12月	3節 惑星の誕生と地球の成長			
3 学期	1月	5章 地球の環境 1節 日本の自然環境	○ 問題演習を通して、2年次の学習内容の復習をします。	学年 末 考 査
	2月	2節 地球環境の科学		
	3月			

評価の観点	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価の方法	定期考查の得点と提出課題、小テストなどを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。				
学習へのアドバイス	1 授業には集中して臨みましょう。その日のうちに復習をするとよいです。 2 問題集を活用し、知識の定着を図るとともに、定期考查に全力で取り組みましょう。 3 分からない点については、科目担当の先生に積極的に質問しましょう。					

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。
	2 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断する態度を育てます。
	3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にす資質や能力を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。	中間 考查  期末 考查
	5月	2 陸上競技	○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。	
	6月	3 球技 I	○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	7月	4 体育理論	○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	中間 考查  期末 考查
	9月			
	10月	6 陸上競技	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。	
	11月	7 球技 II (その①)	○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	12月	8 体育理論	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	期末 考查
3 学期	1月	9 球技 II	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実施を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価の方法	授業態度、出席点、スキルテスト、記録、定期考查の得点等日々の学習活動について、観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図り、たくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	学年	3年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	4
教材	教科書	BIG DIPPER English Communication III		出版社名	数研出版		
	副教材	WORD-MEISTER ワードマイスター 英単語・熟語 1700 (第一学習社)、チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語 (数研出版)					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。 2 物語や説明文などを読んで、素早く情報を読み取り、発信できる力を育成します。 3 つなぎの言葉やパラグラフの構成を意識して、まとまりのある文章を読んで理解する力を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Section I Lesson 1~Lesson 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々なジャンルの英文を読みます。</li> <li>○ 英文の構成や、読み方のポイントを学びます。</li> <li>○ つなぎ表現や言い換え表現を学びます。</li> <li>○ 新聞記事やサイトのレビューなどから必要な情報を読み取ります。</li> </ul>	中間考查
	5月			
	6月			
2 学期	7月	Section II Lesson 15 Instant Replay in Sports	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツの判定に用いられる新しいテクノロジーについて読みます。</li> <li>○ 消滅の危機に瀕している世界の言語について学びます。</li> <li>○ 「環境に良い」と思われている行動を改めて見つめ直します。</li> <li>○ ケニアの貧しい子供たちのために開発された「成長する靴」について学びます。</li> <li>○ 「フェイクニュース」という誤った情報を見分ける方法を学びます。</li> <li>○ 昔から人類の発展とともに広まってきた感染症について学びます。</li> </ul>	期末考查
	8月			
	9月	Lesson 16 Endangered Languages		
	10月	Lesson 17 Is This the Right Way to Protect the Environment? Lesson 18 The Shoe That Grows		
	11月	Lesson 19 Fake News		
3 学期	12月	Lesson 20 Human Society and Infectious Diseases	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 顔認証システムで変わる現代の生活や社会について討論します。</li> </ul>	中間考查
	1月	SECTION III Lesson 21 Having a Discussion		
	2月			
	3月			学年末考查

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 日常的话题や社会的な話題について書かれた文の内容を捉える技能を身に付けている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現する技能を身に付けている。	日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして、書き手や話し手の意図や概要、要点を捉えている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。</li> <li>2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。</li> <li>3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。</li> </ol>		

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	学年	3年(普通科 探究類型文系、教養類型)	単位数	3
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅲ			出版社名	三省堂	
	副教材	チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語(数研出版)					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。 2 グローバル社会の中で、人としてのものの見方や考え方を養い、自ら考えて表現できる力を養います。 3 世界のさまざまな言語や民族の個性を学び、国際理解のための資質を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画		
1 学期	4月	Unit 1 Lesson 1 Survey Results Lesson 2 Writing an Email	○ 調査結果をもとに、様々な種類の動詞を使って自分の提案を発表したり、自分の希望を伝えるメールを書きます。	中間 考査  期 末 考 査		
	5月	問題演習 Lesson 3 Writing a Blog Lesson 4 Describing Activities				
	6月	問題演習 Lesson 5 Suggesting What to Buy Lesson 6 Making a Proposal	○ グラフやウェブサイトのレビューをもとに自分の提案を書いたり、環境を守る活動について発表したりします。			
		問題演習 Lesson 7 Making a Speech Lesson 8 Writing an Invitation	○ 比較表現や関係詞を学んで、自分の提案を発表します。			
	2 学期	8月	Lesson 9 Suggesting a Solution Lesson 10 Talking about the Future Unit 2		○ 関係詞や仮定法を使って、メッセージや提案を書きます。	中間 考査  期 末 考 査
		9月	Situation 1 At the Airport Situation 2 Homestay		○ 新聞記事やほかの人の発表をもとに、代名詞や前置詞を使って自分の提案を発表します。	
			Situation 3 Gifts from Japan Situation 4 Lost Items 問題演習		○ 入国審査時の会話を学びます。 ○ 海外でのルールを考えます。 ○ 日本文化の説明の仕方を考えます。 ○ 電話の掛け方を学びます。	
		10月	Situation 5 Scheduling a Meeting Situation 6 Visitor Information Center		○ 日程調整時に使う表現を学びます。 ○ ツアーの内容について会話をします。	
11月			Situation 7 At a Restaurant Situation 8 At the Doctor's Office 問題演習	○ レストランでの会話を学びます。 ○ 病院での説明の仕方を学びます。		
		12月	復習			
1月			Situation 9 Buying a Ticket Situation 10 At a Café	○ 価格に関する英語を理解します。 ○ アメリカの印象について読みます。		
			2月			
3 学期	3月					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて表現活動を行おうとしている。
評価の方法	定期考査の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切に、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。		